



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2013年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 石

◎石叫 ■ 「成長させて下さる神」

今年の日本ホーリネス教団発行の機関紙『りばいばる』4月号に、福岡教会の栗田征雄牧師のメッセージが載った。僕には実に大きなチャレンジであった。

ある韓国の名誉牧師が、小学6年生の時に、友だちに誘われて初めて教会に導かれました。そこで信仰の基礎を教えられ、教会が生き甲斐になりました。その時、神から「民族福音化」の夢と使命を与えられたのです。同時に、開拓伝道をするようにと神のみ声を聞いたのです。信仰の仲間と協力して伝道を始めました。彼は毎朝早くから夜遅くまで、時間のある限り、民族福音化のためにリバイバルを祈り続けました。すると不思議な事に、主が彼らの小さな教会に「新しい人」を送って下さり、訓練して下さり、使命を与えて祝福して下さいました。役員及び教職者も加えられ、全員の一致協力によって教勢が伸びて、牧会の全ての業が神の恵みの中で成し遂げられ、リバイバルが起きていきました。その経験を通して彼は、説教に、牧会に、教会運営に確信を与えられました。なぜなら、牧会が主がして下さることであり、人がするものではなく、ただ主イエスを信じて祈り続ける事が中心であると分かったからです。ですから、彼には牧会に関する悩みが全く無く、日々祈りに熱中し、恵みと感謝で喜びに満たされ、大学の時に道が開かれ、念願の牧師になる事ができました。祈禱の中で教会員全員の霊肉が向上し、賛美と祈りの教会になっていったのです。

使徒パウロも「わたしは植え、アポロは水をそそいだ。しかし成長させて下さるのは、神である」(1コリント三・6)と言っています。パウロが福音を伝えたことよって教会が建ち、アポロが牧会をしました。成長させて下さった方は神でした。それは、パウロでもアポロでもなく、ただ神がなされたことでした。彼らがしたことは、ただ主を信じることだけでした。大切なのは、植える者でも、水を注ぐ者でもありません。神なのです。人はただその事に用いられる神の僕に過ぎないのです。それにも拘らず、神に用いられる事は何と素晴らしいことでしょう。この名誉牧師は言います。神の使命に従って行く時、神の召命を受け入れ、福音信仰に立ち、神を求め続け、ついには「教会は祈りによって建て上げられる」という確信が与えられるものと(編集抜粋)。

教会はとかく私たちクリスチャンが何かをすることによって成長するように思いますが、そうではない。成長させて下さるのは神である。私たちの絶対的な使命は、その神を見上げ、その神を賛美し、その神に祈ることなのだ。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

